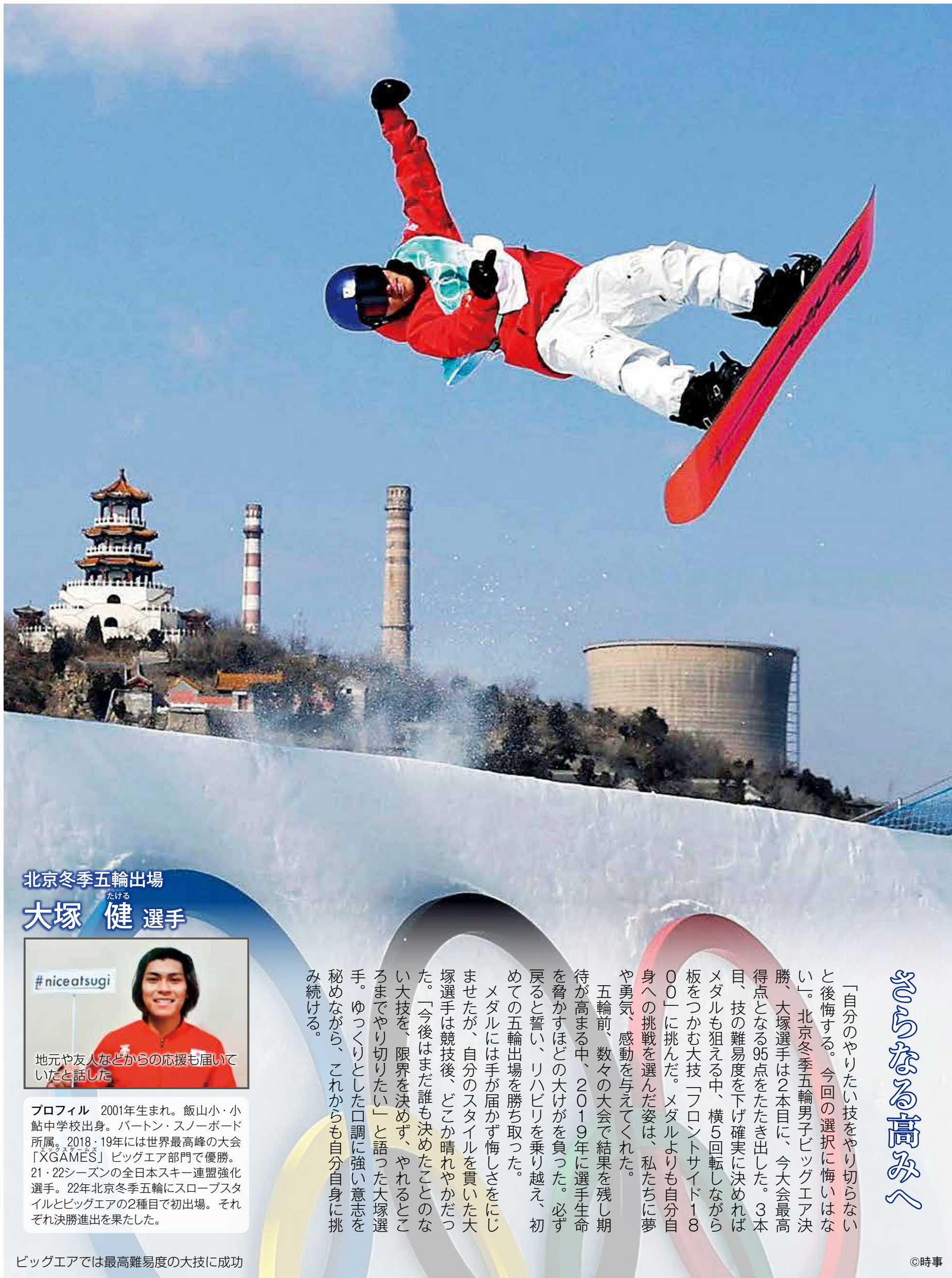


- ② 蓄電池を荻野運動公園に設置
- ③ ワクチン接種のお知らせ
- ④-⑤ **特集** みんなでつくる人にやさしいまち
これからの移動を考える
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



北京冬季五輪出場

大塚 健 選手



地元や友人などからの応援も届いていたと話した

プロフィール 2001年生まれ。飯山小・小鮎中学校出身。バートン・スノーボード所属。2018・19年には世界最高峰の大会「XGAMES」ビッグエア部門で優勝。21・22シーズンの全日本スキー連盟強化選手。22年北京冬季五輪にスロープスタイルとビッグエアの2種目で初出場。それぞれ決勝進出を果たした。

「自分のやりたい技をやり切らないと後悔する。今回の選択に悔いはない」。北京冬季五輪男子ビッグエア決勝、大塚選手は2本目に、今大会最高得点となる95点をたたき出した。3本目、技の難易度を下げ確実に決めればメダルも狙える中、横5回転しながら板をつかむ大技「フロントサイド1800」に挑んだ。メダルよりも自分自身への挑戦を選んだ姿は、私たちに夢や勇気、感動を与えてくれた。

五輪前、数々の大会で結果を残し期待が高まる中、2019年に選手生命を脅かすほどの大けがを負った。必ず戻ると誓い、リハビリを乗り越え、初めての五輪出場を勝ち取った。

メダルには手が届かず悔しさをにじませたが、自分のスタイルを貫いた大塚選手は競技後、どこか晴れやかだった。「今後はまだ誰も決めたことのない大技を、限界を決めず、やれるところまでやり切りたい」と語った大塚選手。ゆつくりとした口調に強い意志を秘めながら、これからも自分自身に挑み続ける。

さらなる高みへ

ビッグエアでは最高難易度の大技に成功

©時事

Zoom Up

災害による停電時も避難所の電源を確保 蓄電池を荻野運動公園に設置

大規模災害発生時の避難所となる荻野運動公園に、非常用電源設備を整備しました。停電しても電気
が使える、照明の点灯やスマートフォンの充電などが可能に。災害時も安心して過ごせるよう、避難所の
機能強化に取り組んでいます。

昨今、気候変動による大規模な自然
災害が増え、都心南部直下地震などの
発生も予測されています。加えて、こ
れからのまちづくりには大雨や地震の
対策だけでなく、環境問題にも配慮し
た持続可能なまちの在り方を考えるこ
とが求められています。

避難所に非常用電源を設置

市では、災害時には市内最大規模の
避難所となる荻野運動公園の機能をさ

らに強化しました。停電しても避難所
や物資集積拠点施設などの役目を果た
せるよう、非常用電源設備を取り付け
ました。

新たに設置したのは、蓄電池とその
電力を施設内で使えるよう変換するパ
ワーコンディショナーです。設置によ
り、多目的室や会議室などに電力が供
給できるようになりました。停電時も
照明やテレビが使えるようになった
他、情報収集に欠かせないスマート
フォンの充電など、約3日分の電力を

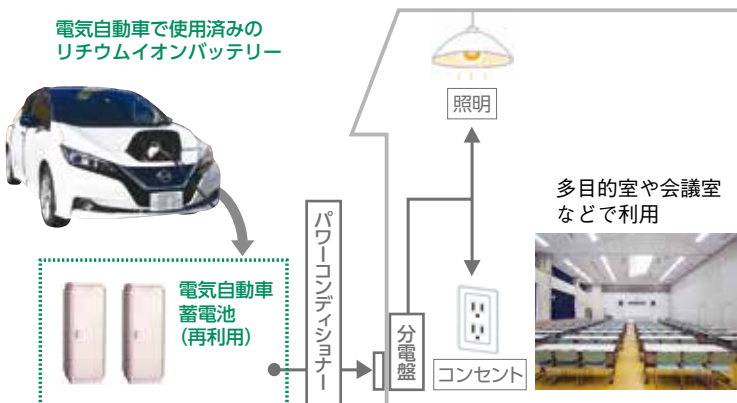
賄えるため、より安心して過ごせます。
設置した蓄電池は、電気自動車の使
用済みリチウムイオンバッテリーを再
利用したものです。再利用は、電池を
解体して資源にするリサイクルに比べ
かかる費用も少なく、環境への負担も
軽くなります。

より安心できるまちに

市では、さらに災害対応力を高める
ため、荻野運動公園に太陽光発電設備
を設置。公民館には、電気自動車の電
力を供給できる非常用電源の整備を進
めています。また、新型コロナウイルス
感染症が流行する中でも災害時に避
難所で安心して過ごせるよう、アル



設置された蓄電池（左・中央）とパワーコンディショナー



非常用電源の使用イメージ

防災行政無線の情報を確実に

防災ラジオを 有償配布

屋内でも防災行政無線の情報を聞けるラジオを有償配布します。

《対象》市内在住の方・事業所・団体

《費用》1台4000円

《配布予定日》11月以降

直接、電話またはファクス、Eメールに〒住所、氏名、電話番号、購入台数、受け取り場所（危機管理課または希望する公民館）を書き、4月28日までに危機管理課 ☎223-0173・☎0900 @city.atsugi.kanagawa.jpへ。

防災ラジオのポイント

- ①自動録音機能で最新の放送を繰り返し再生
- ②AM・FM利用可。緊急時は市の情報を優先
- ③市内どこでも受信が可能

☎危機管理課 ☎225-2190

コール消毒液や室内用テントなどを整備しました。今後も、いつ起きてもおかしくない災害に備え、災害に強いまちづくりを進めていきます。

☎危機管理課 ☎225-2190

有事の際も落ち着いた行動を

日頃から災害に備えて

災害はいつ起こるか分かりません。日頃から災害時の備えを進めましょう。

■災害時の情報の入手手段

- ・あつぎメールマガジンの「防災行政無線情報」
- ・tvkデータ放送（テレビの3チャンネルでリモコンの「d」ボタンを押し、「防災・安全情報」を選択）
- ・テレホンサービス（0180-994422※有料）
- ・ラジオ FMヨコハマ：84.7MHz
FMカオン：84.2MHz

■防災ポケットブック



地震や風水害など災害ごとの対策や、非常持ち出し品などを掲載しています。

《配布場所》
危機管理課や公民館など



インターネットでも閲覧可



昨年8月の大雨で増水した玉川

■ハザードマップ

地域の自然災害リスクを知り、適切な避難ルートの確認や、避難場所などをチェックしましょう。



警戒レベル4「避難指示」で必ず避難

警戒レベル	避難情報など	
5	緊急安全確保	災害時の避難情報が昨年、改定されました。
4	避難指示	警戒レベル4「避難指示」で避難しましょう。
3	高齢者等避難	
2	大雨・洪水注意報	
1	早期注意情報	

ブロック塀の倒壊を未然に防止

危険ブロック塀等 防災工事補助金

地震などでのブロック塀の倒壊を防ぐ、撤去や安全な工作物などへの改善工事を補助します。
《対象》個人が所有する危険なブロック塀で撤去や撤去後安全な工作物などを設置する工事など

《補助額》工事費の4分の3（上限30万円）
※撤去費は別途算出

申請書に位置図など必要書類を添え、危機管理課へ。詳しくは市HPに掲載。

☎危機管理課 ☎225-2190



新型コロナウイルス感染症情報

ワクチン接種のお知らせ

3回目接種の対象者と、5～11歳の方に接種券を発送しています。
希望する方は予約をお願いします。

※情報は3月15日時点

☎新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

5～11歳の接種

3月上旬に接種券を発送しています。希望する方は予約してください。

※5～11歳は接種するよう努める「努力義務」の対象ではありません。

《ワクチンの種類》ファイザー社製（子ども用）
《接種回数》2回（通常3週間の間隔）
《実施場所》市内・愛川町の22医療機関
《予約方法》接種券に同封する医療機関一覧表や市HPに掲載



詳しくは
こちら

- ・接種には、保護者の同意と立ち合いが必要です。効果と副反応を理解した上で、保護者と本人の意思で判断してください。詳しくは市HPに掲載。
- ・接種履歴を管理するため、母子健康手帳をお持ちください。
- ・他のワクチンとの接種間隔や、基礎疾患があるなど、疑問や不安がある場合は、かかりつけ医に相談してください。

3回目の接種

3回目の接種券は、2回目接種から6カ月経過後に送付されます。

接種券の発送

2回目接種から6カ月後に3回目を受けられるようになりました。接種券が届いたら、中身を確認してください。

《封筒の中身》ワクチン接種券、予診票、追加接種のお知らせ

3回目の接種までのスケジュールの例

2回目を11月に接種した方……4月下旬に接種券送付
5月に接種開始

接種方法

1・2回目と異なるワクチンを接種できます。

個別接種

かかりつけ医などで接種できます。

《ワクチン》ファイザーまたはモデルナ社製

☎希望する医療機関へ。申し込み方法は医療機関によって異なる。

集団接種

《日時》水・木・金曜 11時30分～18時

月・火・土・日曜 10時～16時30分

《場所》保健福祉センター

《ワクチン》モデルナ社製



詳しくは
こちら

集団接種の予約方法

電話予約

☎8時30分～17時15分にコールセンター ☎0570-054-666へ。
手元に接種券を準備して電話してください。

インターネット予約

①予約ページにアクセス

市HPのトップページまたは下の二次元コードから予約サイトへ



②ログイン・日時選択

接種券番号（10桁）と接種する方の生年月日を入力。氏名、電話番号などを入力して予約完了



接種当日の注意

《持ち物》接種券（切り離さない）、記入済みの予診票、健康保険証などの本人確認書類、お薬手帳（お持ちの方）

※効率よく接種するため、肩を出しやすい服装でお願いします。

※自宅で体温を測り37.5℃以上の発熱がある場合や、体調が悪いときは、接種を控えてください。



基本的な感染対策の徹底を

新型コロナウイルスに感染しない、させないためにも、小まめな手洗いや手指消毒、密を避けるなど、感染防止対策を心掛けましょう。

☎健康長寿推進課 ☎225-2174



小まめな手洗い、手指消毒をしましょう。



会話時はマスクを正しく付けましょう。



密接・密集・密閉の一つも当てはまらないようにしましょう。



新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル

☎ 0570-056-774
☎ 045-285-0536

1 全日（24時間）
2 全日（9～17時）
3 4 8 平日（9～17時）

音声案内

- 1 発熱や咳などの症状のある方、感染の不安のある方、健康・医療、診療できる医療機関の案内、コロナ接触確認アプリCOCOA・濃厚接触者のことなど
- 2 営業時間短縮要請・マスク飲食実施店認証制度相談
- 3 経営相談
- 4 LINEコロナお知らせシステム、その他
- 8 協力金第13・14・15・16・17・18弾に関すること

2018年～
実証運行中コミュニティ交通「ココモ」
(まつかけ台・みはる野・鳶尾)

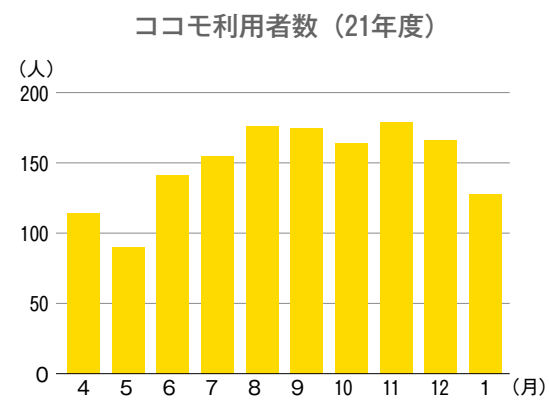
《実験の内容》決まった時間に決まったルートを通る10人乗りの車両を配置。18年は無料、19年は有料（1回100円）で運行し、利用者数やアンケートなどで結果を検証した。現在は、地域の特性に適しているか、乗車人数の目標に達するか、地域に定着するかなどを長期でモニタリング（23年度まで）。

《メリット》予約が不要で、安く乗れる。

《課題》決まった時間、ルートしか利用できない。利用者がいなくても運行する必要がある。継続的に運用していくためには、利用者の確保と地域住民の生活への定着が必要。

ココモ これまでの経緯

- 2018年度** コミュニティ交通の取り組みを地域公共交通会議で検討
まつかけ台・みはる野・鳶尾地区の地域組織が市と一緒に取り組みを開始
ジャンボタクシーを使った実証実験を開始（無料で運行）
- 20年度** 同様の実証実験を有料で実施
- 21年度** 実証運行を長期で実施（3年間）



利用者の声

視力が落ちてきて運転するのが心配になり、免許を返納してから使い始めた

坂が多いので助かっている

コミュニティのつながりができる

みんなでつくる人にやさしいまち

これからの移動を考える

高齢化や人口減少が進む中、市では「コンパクト・プラス・ネットワーク」（右欄参照）の取り組みを進めています。特集では、実証実験に参加し地域の課題に向き合う皆さんに話を聞き、持続可能な交通手段の在り方を考えました。

〒都市計画課 ☎225-2357



《まつかけ台・みはる野・鳶尾の特徴》駅やバス停から徒歩圏外の住居や、後期高齢者が多いことから、18年に本市の最初の実証実験で実施エリアとなった。



——は主要なバス路線

《毛利台の特徴》一方通行や地域外の日常の買い物施設が多いため、決まった時間に決まった道を通る交通手段だと運行時間が長くなり、適当なルートを組むのが難しい。狭い道路が多く、安全上、大きな車両での運用が好ましくない。



まつかけ台・みはる野・鳶尾地区コミュニティ交通運営協議会
岩崎 正昭会長 (78)

地域のために
できることを

08年に森の里からみはる野に引っ越してきて、協議会会長として地域の交通手段の在り方を考えています。森の里に住んでいた頃は、市民協働提案事業のコミュニティ交通「森の里ぐるっと」に携わっていました。ココモでは、乗降する際の介添えやアンケート調査などで実験に協力しています。

ココモは主に買い物の足として使われています。土日のたび家族に買い物の手伝いをしてもらうのが申し訳ないという高齢者の方もいて、車を手放しても自力で生活に必要な移動ができる環境が必要だと実感しています。開始当初は時刻表を変えてほしいという要望がありましたが、長期間運用すると慣れてきたのか、生活リズムをココモに合わせてくれたように思います。

「公共交通機関をカバーする交通手段が必要」という課題は住民共通ですが、個人ではなかなか解決できません。地域のために何かしようと思う人が複数集まれば、解決に向けた取り組みを始められると思います。

私たちにできること

■公共交通機関を使う

使うことで長期的な機能維持につなげる

■地域で助け合う

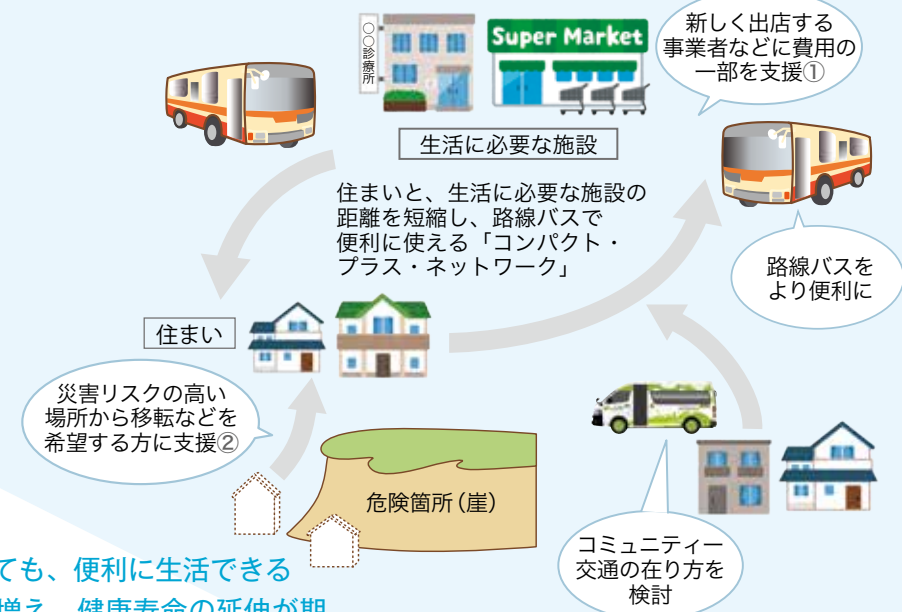
行き先が同じ人同士で自家用車をシェアしたり、タクシーが割安になったりと工夫の幅が広がる

■事前に考える

何歳で車を手放すか、その時どんな移動手段が使えるか、選択肢が広いうちに検討しておく

コンパクト・プラス・ネットワークって何？

住まいと生活に必要な施設の距離が近く（＝コンパクト）、公共交通機関でつながれた（＝ネットワーク）状態。高齢化・人口減少が進む中、病院や買い物ができる施設の機能と、自家用車に頼りすぎない移動手段を確保し、長く維持していくために必要な取り組みです。市は、コンパクト・プラス・ネットワークの実現に向けた実証実験や調査などを実施しています（下記参照）。



メリット

- ・高齢になって車を手放しても、便利に生活できる
- ・徒歩移動により運動量が増え、健康寿命の延伸が期待できる
- ・車が減ることで、温室効果ガスの排出が抑えられる

コンパクト・プラス・ネットワークを進める市の取り組み

①買い物施設や診療所などを誘致

生活便利施設立地促進事業補助金

スーパーマーケットや診療所などの施設が不足している地域で、新しく出店などをする事業者に補助金を交付します。

《対象》補助対象区域内に、スーパーマーケットやドラッグストア、コンビニエンスストア、診療所を新規出店または開院などをする事業者

《補助上限額》生活便利施設整備等費①スーパーマーケット＝1億円②ドラッグストア＝5千万円③コンビニ、診療所＝2千万円（診療所に調剤室を整備した場合は2100万円）。自家消費型太陽光発電設備整備費＝420万円。蓄電システム等整備費＝15万円。

②危険な場所からの移転を補助

居住誘導区域（がけ地近接等危険住宅）移転事業補助金

災害リスクの高いエリアから移転する方に、除却・移転費などの一部を補助します。

《対象》市で定める危険区域に住み、要件を満たさない住宅を除却し市内の安全なエリアへ移転する方

《補助上限額》1戸当たり①除却費＝97万5千円②建物助成費（借入金金利への助成）＝731万8千円③移転費＝50万円（移転先が居住誘導区域の場合のみ）。

③車に依存しない交通手段を検討

モビリティマネジメント事業

移動を自家用車に頼る状態から、公共交通や徒歩などを適度に使う状態へ促す取り組みを進めます。市内企業と協力し、自家用車での通勤を抑制する「あつぎノーマイカーデー」の社会実験を実施し、交通量や環境への効果を検証します。

☎①②はいずれも事前相談が必要なため、電話またはEメールで都市計画課 ☎225-2400・✉4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。詳細は市HPに掲載。

2月
実証実験

デマンドタクシーチケット制度（毛利台）



《実験の内容》通常のタクシーを地域の交通手段として検討する。1回の乗車で400円引きになるチケットを実験協力者に配布し、1カ月間、買い物などに使用してもらう。アンケートで結果を検証する。

《メリット》自宅前からも乗れる。新たな予約システムをつくる必要がなく相乗りで安く利用できる。狭い道でも対応しやすい。

《課題》補助額以上かかった場合は、自己負担で支払う必要がある。



実験に協力した
大河原セツ子さん
(76・毛利台)

以前から地域の交通手段の在り方を考えており、今回、デマンドタクシーの実験に参加しました。タクシーは、自分の都合に合わせてるので通院などには便利な一方、普段の買い物だと複数人で使わないと高くつくし、予約というひと手間もあります。乗客が声を掛け合わなくても乗り合いできる仕組みができないか、乗れる人数を増やして料金を抑えられないかなど、地域の仲間と考えているところです。

人口減少・高齢化を見据えて
行動を変える

地域公共交通会議会長
東海大学
梶田 佳孝教授 (51)

人口減少や高齢化は全国的な課題ですが、このまま人が減っていけば、交通機関は減便・減ルートを余儀なくされます。将来そうなることを念頭に、自家用車に依存しすぎない、持続可能な交通手段を考える時期に来ています。

厚木市はバス路線が充実しているので、それを使いながら、必要に応じて地域コミュニティで補うのは良い取り組みだと思います。コミュニティ交通は、バス

や電車と比べると本数や費用など満足いかない面もあるかもしれませんが、時には交通手段に合わせて生活のリズムを変えることも必要です。そして、サービスにはお金がかかります。長く続けていくためには、ある程度の料金を負担する必要があります。それらも含めて、住民一人一人が将来を見据え、地域に合う交通手段を考える必要があると思います。

交通インフラを整えるのには時間がかかるので、本当に困ったことになる前から少しずつ行動を変え、地域で協力しながら将来に備えられると良いと思います。

スポーツ イン ライフ
Sport in Lifeアワード2021 自治体部門優秀賞

サーチウォークイベントがスポーツ庁から表彰



11月のイベントには150人が参加

2020年に市内で実施したサーチウォークイベントが、スポーツ庁から表彰されました。「コロナ禍にできるイベントを住民と一緒に作り、コミュニティもできる素晴らしい取り組み」と評価されました。

サーチウォークは、指定された電柱を探し当てる競技。感染症の影響で多くのイベントが中止になる中、市とスポーツ推進委員が連携し実施しました。表彰は、スポーツ人口の拡大に向けた取り組みが対象で、全国85団体から応募があり12団体が受賞しました。

今後各各地区で開催できるよう、体育振興会が準備を進めています。

精進を続け市の活性化にもつなげたい

落語家の立川志ゑんさんが真打ち昇進を市長に報告

飯山在住の立川志ゑんさんが、落語家の最高位・真打ちへの昇進を市長に報告しました。3月下旬には、文化会館で記念の公演を開き、多くの市民らが昇進を祝福しました。

志ゑんさんは、小鮎小・中学校、厚木西高校を卒業後、1999年に立川志らく氏に弟子入り。稽古を重ね、昨年9月に真打ち昇進が決定しました。志ゑんさんは「ここからがスタート。厚木を拠点に活動をし、市の活性化にもつなげたい」と話しました。

あつぎ市民交流プラザでは、皆さんに親しみを持ってもらうため、志ゑんさんの扇子や手ぬぐいなどを4月14日まで展示しています。



市長に意気込みを語った志ゑんさん（左）



広報あつぎ3月1日号と連動

「性差と役割」図書展を中央図書館で開催

2月の北京冬季五輪・スノーボード競技に出場した大塚健選手への活躍をたたえ、特別表彰を贈りました。表彰式には、海外遠征中の大塚選手に代わり、両親が出席。表彰状と記念品、花束を小林市長から受け取りました。

大塚選手は、スロープスタイルとビッグエアの2種目に出場し、いずれも決勝進出。ビッグエアでは95点の大会最高得点を記録するなど、挑戦し続けた姿をたたえ表彰が決められました。

表彰式で父の暁さんは「これからも挑戦は続くので、温かい目で応援してもらいたい」。母の朋美さんは「皆さんからたくさん応援を頂きうれし。小さいころから親子で頑張ってきたので、大きな舞台に立ててよかった」と話しました。

「性差と役割」をテーマに特集記事を掲載した広報あつぎ3月1日号と連動し、中央図書館で企画展を実施しています。男女の役割や性別による「らしさ」、性的少数者などの本約80冊を集め、貸し出ししています。

展示場所には、広報あつぎの特集記事をポスターサイズで掲示。市民アンケートの結果をはじめ、育児中の正社員女性や育児休暇を取得した男性などを取材。加えて、中学生による「性差によってあっていいけど、あつてはならないけどいい」を考える座談会の様子などが見られます。会場では、4月から始まるパートナーシップ宣誓制度の内容も紹介しています。

企画展は、4月27日まで実施しています。



展示は2階・大人の本のフロアで実施

市民に元気と勇気をありがとう

北京2022冬季五輪出場の大塚健選手を特別表彰



市長から記念の花束を受け取る朋美さん（中央）



第6回

みんなで!

SDGs

持続可能な社会を目指す世界共通の目標「SDGs」。その達成のために17の目標を知り、できることから実践しませんか。

目標16

平和と公正をすべての人に

世界のどこかで、5分に1人、子どもが暴力によって亡くなっています。世界中の紛争や暴力をなくし、全ての人が法律や制度で守られる社会を目指しましょう。

16

平和と公正をすべての人に



できる取り組みは?

世界の現状を知り、発信してみよう

世界各地で起こっている紛争を個人が解決するのは困難です。しかし、SNSでの情報発信など、できることもあります。多くの人が知ること、大きな支援につながる可能性もあります。現状を知り、伝えることは、立派な支援の一つです。



政治に関心を持とう

公正な社会を実現するためには、権力が偏ることなく、多くの人が政治に参加する必要があります。政治に関心を持ち、選挙を通じて意見を届け、公正な社会をつくっていきましょう。

企画政策課 ☎225-2450



市議会第1回会議で施政方針を表明

2月15日、北京2022冬季五輪の男子スノーボード競技・ビッグエア決勝。厚木市出身の大塚健選手の活躍を、多くの皆さんが固唾を飲んで見守られたことと思います。ここに至るまでには、けがなど数々の困難があったと聞いています。大舞台でも失敗を恐れず、果敢にチャレンジする姿に私も勇気を頂きました。

さて、桜の開花とともに、新しい年度が始まりました。今年の市政運

の、皆さんの命を守る取り組みです。昨年は、市内で交通事故により尊い命が失われました。改めて「交通事故ゼロ」の実現を目指し、通学路の安全確保などに取り組みます。

「もうこれで満足だ」という時は、すなわち衰える時である。日本の資本主義の父・渋沢栄一の言葉です。市民の皆さんと培ってきた市民協働を推進力に、将来を見据えて前に進んでまいります。

営のテーマは「前進」です。新型コロナウイルス感染症の影響は続いています。立ち止まっている訳にはいきません。新年度予算も、前に進む強い思いを込めて編成しました。総額は1591億円を超え、過去最大です。特に力を入れている

タウンガイド

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 FAX=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📄=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「春の訪れ」

#3月5日撮影

#河津桜

#小鮎川

#niceatsugi

広報課公式インスタグラムで公開中



5月はあつぎ子ども月間

少年少女フェスティバル

楽しいおもちゃ作りで親子の絆を深めませんか。

《日時》5月15日(雨天中止)

①10時30分～ ②13時30分～

《場所》ほうさいの丘公園

《内容》紙飛行機・かざぐるま・缶バッチ作りやウオークラリーなど

《定員》各回70人 《費用》無料

☎青少年課☎225-2580

📅4月25日までに青少年課へ。抽選。📄

新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(24時間対応)

感染の不安のある方、健康・医療の相談、診療ができる医療機関の案内など

☎0570-056-774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

本入れバッグの配布

小学校に入学した児童に、市立小学校を通じて本入れバッグを配布します。私立小学校の場合は、中央図書館で受け取れます。☎中央図書館☎223-0033。

4月2日は世界自閉症啓発デー
4月2～8日は発達障害啓発週間

自閉症スペクトラムは、脳の情報処理がうまくできない生まれつ

きの障がいです。理解を深め、特性に合わせた支援をしましょう。

☎障がい福祉課☎225-2221。

七沢はたけクラブ

5月8日、7月3日、9月11日、11月13日、12月11日(全5回)。10～15時。七沢自然ふれあいセンター。センター内の畑で野菜の育成・収穫。市内在住の小学生以上の親子24人。3000円(材料費、保険料)。📅4月15日までに七沢自然ふれあいセンター☎248-3500へ。抽選。📄

危険物取扱者試験の受験準備講習会

5月14日、9時30分～17時。消防本部。試験に向けた講習。9600円。☎消防本部や各消防署・分署にある申込書を直接、4月7日～5月13

日に予防課☎223-9369へ。

応急手当普通救命講習会

4月16日、9～12時。消防本部。応急手当の重要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上15人。無料。📅4月1～7日に救急救命課☎223-9365へ。抽選。📄



健康食育推進協議会委員を募集

市民の健康増進や食育の推進に向けて協議する委員を募集します。

《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3～5回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない

④市の議員・職員でない—の全てを満たす方3人《任期》6月～(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。☎保健福祉センターや市HPにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで5月9日(必着)までに〒243-0018中町1-4-1健康長寿推進課☎225-2174・☎224-8407・✉2250@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

みんなの声でまちをつくる

《パブリックコメント》

■市立保育所の運営基本方針
 ■小鮎保育所建て替えに関する基本方針

いずれも《閲覧期間》4月1日～5月2日《閲覧場所》保育課、市立保育所、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、保健福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、子育て支援センター市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。☎保育課☎225-2768。

電話機などの購入費を補助

振り込め詐欺などの特殊詐欺の被害を防ぐ、迷惑電話防止機能付き電話機などの購入費を一部補助します。

☎セーフコミュニティくらし安全課☎225-2148

《対象》市内在住の70歳以上が属する世帯

《対象機器》呼び出し音が鳴る前に自動で警告メッセージが流れ、通話録音機能のある固定電話(電話回線につなぐ機器で同じ機能を持つものも可)で購入日から3カ月以内の物

《補助内容》①購入経費の3分の2②6000円—のいずれか少ない額
 ※1世帯1台限り

☎セーフコミュニティくらし安全課や公民館にある申請書を、直接または郵送で2023年1月31日(必着)までに〒243-8511セーフコミュニティくらし安全課へ。

市役所組織の改正

4月から組織の一部を改正します。

☎行政総務課☎225-2280

新設 ■健康づくり課 予防接種係
 ■教育施設課 学校保全係
 ■厚木消防署 管理課

名称変更 ■企画政策課 友好交流係
 (旧:友好交流・オリンピック・パラリンピック推進係)
 ■子育て給付課 こども家庭支援係
 (旧:ひとり親家庭支援係)
 ■下水道総務課 下水道許認可・計画係 (旧:許認可係)
 ■下水道施設課 下水道建設係 (旧:下水道計画工事係)
 ■教育施設課 学校管理係 (旧:維持管理係)
 ■学務課 保健安全係 (旧:保健経理係)

事務移管など詳しくは 厚木市 行政組織 検索



ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

3月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆個性を尊重し伸ばすのは、幼少期からとても大切なことだと思う／30代女性 ◆ジェンダー平等は関心の高い話題なのでじっくり向き合いたい／60代男性 ◆好きな色を選べる時代になれば良いと思う／40代女性 ◆パートナーシップ宣誓制度が始まり多様性を認めるまちになってうれしい／60代男性 ◆暗いニュースが多い中、明るい桜の話題で気持ちが前向きになった／20代女性

編集後記

取材の中で、人口が減ると公共交通機関の便やルートが減り、また乗る人が減るという負のスパイラルになると梶田先生が話していました。自家用車は便利ですが、一生乗り続けられるとは限りません。何かと慌ただしい日々ですが、これを機に、バスから見える街並みで季節を感じたり、気持ち良さそうに散歩する人や犬を眺めたりといった時間を、日常の中につくるのも良いかもしれないと思いました／水野



審査結果

広報写真コンクール

「笑顔になれる あつぎ」をテーマに作品を募集し、専門家による審査の結果、入選作品が決まりました。
(敬称略・順不同)
☎広報課 ☎225-2040



◀市HP
全入選作品は市HPに掲載。一般部門の入選作品は、4月1日から本厚木駅東口地下道に展示します。

一般部門 応募数94点 市長賞 「のびのびえん」 高橋 暁子(元町)



神奈川新聞社賞
「あきのたのしみかた」
竹下 綾華(森の里)



市観光協会賞
「厚木にスターウォーズ現る」
砂川 勝洋(下荻野)

《入選》
山田フジ子、津山菜摘、内野秀明、関口通規、金澤遼平、町野正樹、今村弥生、遠藤昌彦、土井文明、佐伯四郎
《審査員奨励賞》
小坂柚葵、佐伯誠斗



市長賞 平野 真美子(飯山)
アカウント名 petitmami

《入選》アカウント名
mpyumwa、mame.mama69、escargot1231、toshi526、apphoto2012、minominto、ikerogo



市公式
Instagram

インスタグラム部門
応募数568点

自然歳時記

●ヒクイナ●
クイナ科

全長23㌢、夏鳥として渡来するが、越冬している個体かもしれない。足、胸、顔が赤褐色の美しい鳥。市のレッドデータ絶滅危惧Ⅰ類に指定されている／玉川、ツルヨシの茂った川べりで見つけた。写真・文 吉田文雄



まだ日も高いころ、風もない静かな川べりに立つと、数羽のホオジロがススキの穂をついばんでいた。川面に広がった小さな波紋に目をやると、赤褐色のヒクイナがいた。警戒心が強く日暮れごろから現れるため、あまり見掛けない鳥だ。水辺の昆虫やクモを食べながら近付いてきた。カイツブリの前を通った時は、気が知れているのか何の反応もなく通り過ぎた。やぶの中ではゆっくりと食べ物を探していたが、日の当たる場所で石に影が映ると大股で走っていった。やっぱり用心深い鳥、そっと見守ってあげたい。

厚木市の人口 (3月1日現在) 世帯数 10万1813世帯 (前月比49世帯増) 人口 22万3402人 (前月比96人減) 男11万5067人・女10万8335人

庭木1本から承ります!

お客様へのお約束
庭木1本より明瞭料金
土日でもOKです
トイレはお借りしません
お茶はご遠慮します

広報あつぎ 4月1日号
をご覧の方に
生垣剪定 長さ1m×高さ2m
通常2,200円を(※税込)
先着10名のみ 令和4年4月1日現在
1,100円!

お気軽にどうぞ 1本からのお庭サービス ガーデンエクスプレス
相模原店 相模原市緑区橋本3-11 営業時間 9:00~17:00
☎0120-61-4128

地域に必要とされるサービスを一緒に作りませんか? 事業拡大で仲間を募集!

①外装リフォーム営業職 ②住宅リフォーム営業職 ③営業サポート職

saneki 株式会社サンエキ 046-228-0774 info@saneki.co.jp